

山形的伟人们

山形の偉人たち

都说山形县的人沉默寡言。但是，在沉默的背后隐藏着强烈的个性。请看这些胸怀大志，并不断努力终创大业的伟人们。

山形の人間は寡黙だと言われます。しかし、そのかげには強烈な個性が潜んでいるのです。目標を定めて、コツコツとその実現を目指した偉人たちを紹介します。

县人文学
県人文学

伊东 忠太 (1867~1954) 建筑史学家、建筑师

在日本最初把建筑学当作一门独立的科学，并且弄清了日本建筑艺术发展的经过。设计了京都的平安神宫、东京筑地本愿寺等建筑。

伊東 忠太 (建築史家、建築家)

日本で初めて建築学を一つの科学となし、日本の建築芸術の発展経路を明らかにした。京都の平安神宮、東京の築地本願寺などを設計。

我妻 荣 (1897~1973) 法律学者

因《我妻民法》而闻名。日本民法学会最杰出的人物。战后，在修改民法时为废除旧的家族制度起到了重要作用，在法律方面的贡献颇多。

我妻 栄 (法律学者)

「我妻民法」で知られる日本民法学界の最高峰。戦後、民法改正に際して旧家族制度の廃止に重要な役割を果たすなど、法制面での貢献も数多い。

平冢 英吉 (1888~1984) 农艺化学家

他所进行的蚕丝生成以及蚕的营养等基础性研究，对蚕糸学的研究作出了巨大贡献，并且对今天纺织业的发展起到了积极的作用。

平塚 英吉 (農芸化学者)

絹糸生成や蚕栄養に関する基礎的な研究など、蚕糸学に関する研究に大きな功績を残し、今日の紡績業発展に寄与した。

斎藤 茂吉 (1882~1953) 医师、和歌诗人

在从医的同时学习和歌，第一歌集《赤光》把激昂的抒情和敏锐的感觉借朴素的万叶调表现出来，从而一举成名。尤其是《死去的母亲》等一系列作品最为有名。

斎藤 茂吉 (歌人、医師)

医業のかたわら歌を学び、第一歌集「赤光」は素朴な万葉調に託した激しい叙情精神と鋭い感覚によって作者の名を一躍有名にした。特に「死にたまう母」の一連の作品は有名。

新关 良三 (1889~1979) 戏剧家、德国文学研究家

作为戏剧家的同时，又是德国文学研究家，西方古代戏剧研究专著《希腊、罗马戏剧史》是他从两个角度研究的成果，是日本外国文学研究的最高峰。

新関 良三 (演劇学者、ドイツ文学者)

演劇学者・ドイツ文学者と2つの顔を持ち、その両面からの西洋古代劇研究書「ギリシャ・ローマ演劇史」は、日本人による外国文学研究の最高峰とされる。

小松 均 (1902~1989) 日本画家

他所描绘的宏大有力的风景画和飘逸的生活风貌，被称为“大原的画仙”。在全面描绘最上川的念头下创作的雄壮的《最上川》系列作品，没有最后完成。

小松 均 (日本画家)

雄大で力強い風景画と飄々とした生活、風貌から、「大原の画仙」と呼ばれた。最上川の全ルートを描くのを念願とした雄大な連作「最上川」シリーズは、未完となった。

高桥 里美 (1886~1964) 哲学家

以“包越理论”为基础创建了自成一家的哲学体系。高桥哲学作为纯理论而为人所知，被称为“最哲学的哲学”。

高橋 里美 (哲学者)

「包越の論理」に基づく独自の観念派的哲学体系を組み立てた。高橋哲学は純粋理論として知られ、「最も哲学的な哲学」と言われる。

相良 守峰 (1895~1989) 德国文学研究家

因编撰日德、德日辞典而闻名。他是研究歌德的权威，他翻译的《尼伯龙根之歌》是日本研究德国中世文学的基础。

相良 守峯 (ドイツ文学者)

和独、独和辞典の編集で有名。ゲーテ研究の権威であるとともに、「ニーベルンゲンの歌」の翻訳により日本における中世ドイツ文学研究の基礎を築いた。

福王寺 法林 (1920~) 日本画家

以主题宏大为主要特征的日本画家。他的作品在经过数次的喜马拉雅山实地考察后发表。日本艺术院会员。

福王寺 法林 (日本画家)

壮大なモチーフが特徴の日本画家。度重なるヒマラヤへの取材旅行による作品を発表。日本芸術院会員。

山形县出生的文化功臣 山形県出身の文化功労者